

熊本駅新幹線口駅前広場再整備案

熊本駅新幹線口駅前広場は、熊本駅周辺整備事業の一環として、熊本駅の西側に新設された駅前広場です。

「駅と街の間をゆるやかにつなぐ半屋外の公園のような駅前広場」をデザインコンセプトとして、平成23年の九州新幹線全線開業に合わせ整備されました。

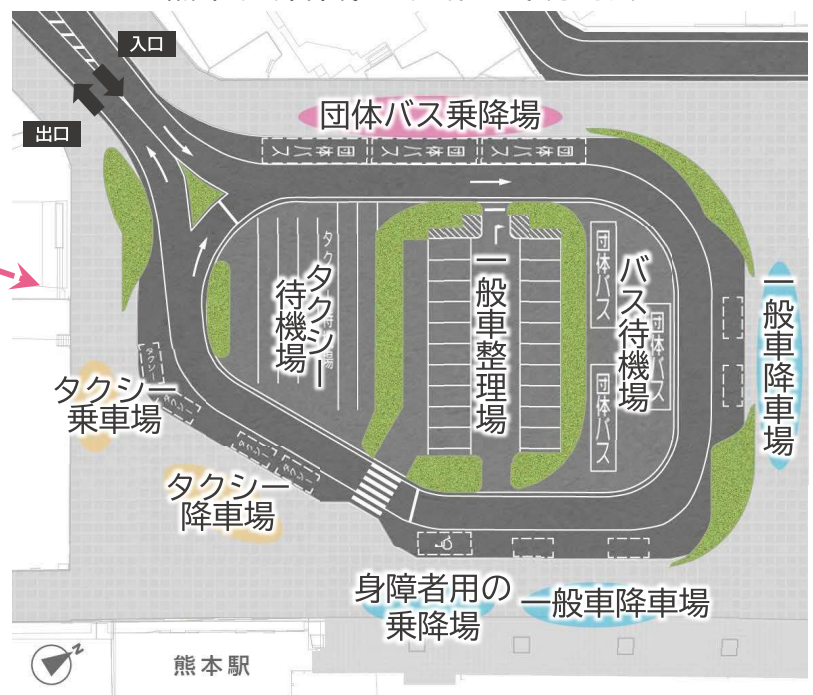
熊本駅周辺整備事業の進展に伴い、周辺地域はインフラ整備及び民間開発が進み、目覚ましい発展を遂げてきましたが、一方で本駅前広場では、計画値を大きく超える一般車の流入により団体バス・タクシーを巻き込んだ渋滞が発生し、利便性が大きく低下したほか、団体バス待機場・乗降場での危険な乗降等が頻発するようになりました。

これまで様々な対策を講じてきましたが、抜本的な問題解消に至らなかったため、市民の皆様や駅前広場利用者へのアンケート調査、関係事業者や地域の方々との意見交換を通じていただいたご意見を踏まえ、本駅前広場の全面リニューアルを行う「熊本駅新幹線口駅前広場再整備案」を作成しているところです。今回改めて、再整備案について、市民や来訪者の皆様のご意見をお聴きしたいと考えています。ぜひ、ご協力のほどお願いいたします。

熊本駅周辺



熊本駅新幹線口駅前広場現況図



I 新幹線口駅前広場の問題点

渋滞の発生、バス・タクシーの運行阻害、危険な乗降等の問題が発生しており、その要因は次のとおりです。

① 渋滞発生の要因

- 計画値を大きく超える一般車の流入、一般車乗降場の不足
- 一般車の長時間駐停車



② バス、タクシーの運行阻害の要因

- 一般車・バス・タクシーの動線が混在



③ 危険な乗降等の要因

- 団体バス乗降場の不足、駅舎から団体バス乗降場までの距離(遠さ)



2 再整備の考え方

再整備案の作成にあたっては、令和4年度に実施した広場利用者アンケート調査や事業者ヒアリング、令和5年度に実施した熊本駅新幹線口駅前広場改修に関するワークショップ(計3回)でいただいたご意見を参考にしております。

◆アンケート

令和2年度WEBアンケート：1,618件
令和4年度利用者アンケート：349件
合計：1,967件

◆ワークショップ

第1回：令和5年11月
第2回・第3回：令和5年12月
合計：3回開催



広場利用者アンケート調査



第1回ワークショップ



第2回ワークショップ



第3回ワークショップ

市民のみなさんの **声** を踏まえて作成

再整備の考え方

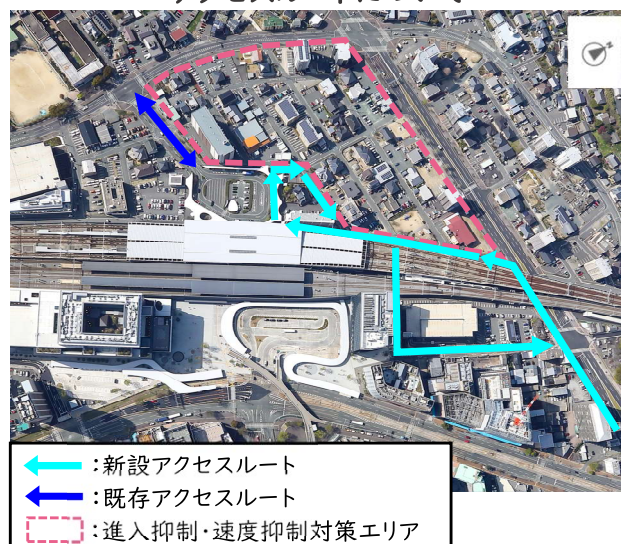
「将来にわたり誰もが安全で快適に行き交える駅前広場」

を目指し、次の考え方で再整備を進めます。

① 流入交通の分散化

- ・広場北側からアクセスルートの新設し、広場への流入交通量を分散化します。
- ・アクセスルートに隣接した住宅地域には、通過車両の進入抑制対策、速度抑制対策を行います。

アクセスルートについて



← 新設アクセスルート
← 既存アクセスルート
[] : 進入抑制・速度抑制対策エリア

② 需要に応じた一般車乗降場の増設・短時間利用促進

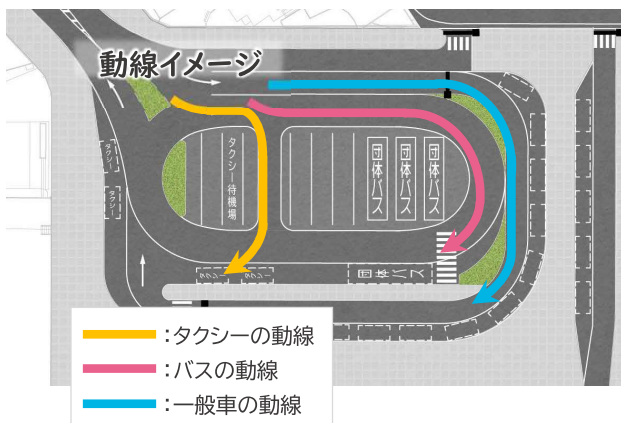
- ・送迎のための一般車乗降場には、一定時間を超えると退出時に有料となるゲート方式を採用します。

③ 流入交通の低減・目的外利用の抑制

- ・目的外利用が多く、渋滞発生の要因となっている一般車整理場を廃止します。

④ 各交通動線の分離

- ・団体バス・タクシーを内周、一般車を外周として可能な限り動線を分離します。



⑤ バス需要への柔軟な対応、乗降場位置の見直し

- ・観光・修学旅行シーズンと平常時で大きく変動する需要に柔軟に対応できるように、タクシー待機場と団体バス乗降場を共有します。



⑥ 現在の駅前広場の良さを継承

- ・ワークショップ等で多くのご意見をいただいた、「安らぎのある待合いの空間がある」や「居心地良くくつろげる安全な空間がある」、「にぎわいを創出する空間がある」といった、現在の駅前広場の良い部分を継承していきます。
- ・これを踏まえ駅舎に近い空間は、『憩いと交流の空間』として整備を行います。

ゾーン1

利用者を出迎える熊本らしさのある空間

熊本の玄関口として利用者を出迎え、熊本らしさを発信する空間とします。

ゾーン2

安らぎやにぎわいを感じられる空間

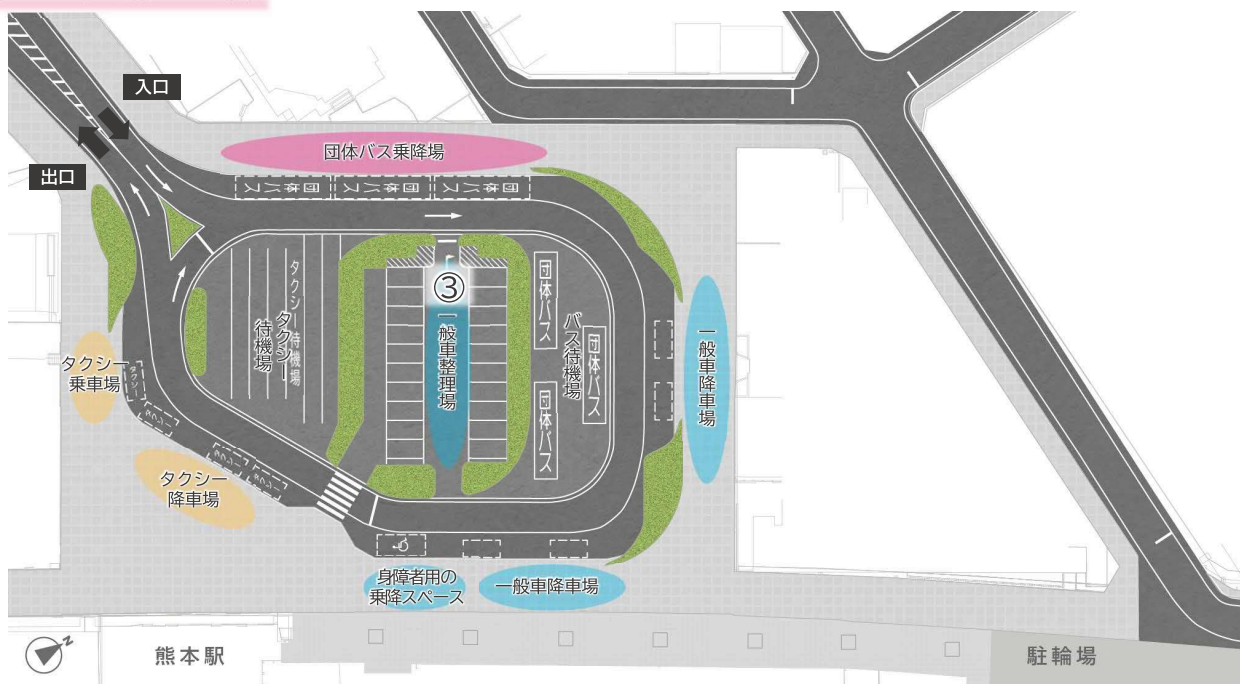
普段は安らぎ・落ち着きを感じられ、イベント時はスペースを活かしマルシェ等開催できるような空間とします。



3 新幹線口駅前広場の再整備案

再整備の考え方にに基づき、以下の交通対策を計画しています。

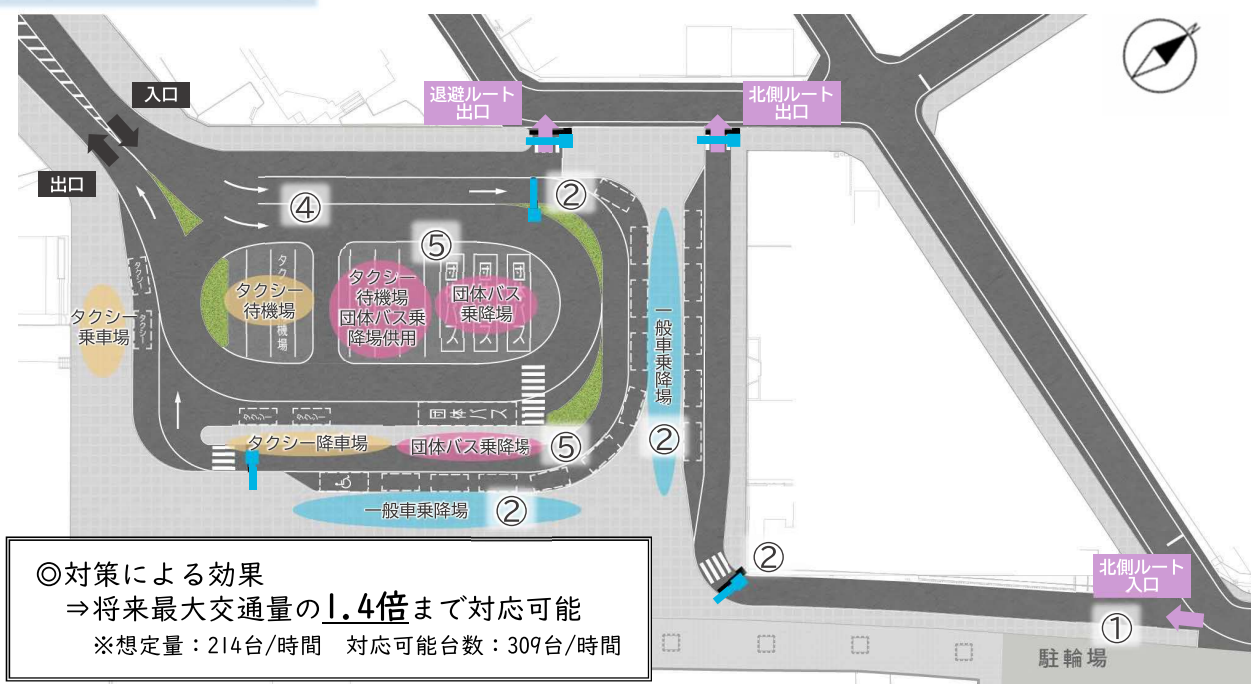
【現在の駅前広場】



(対策案)

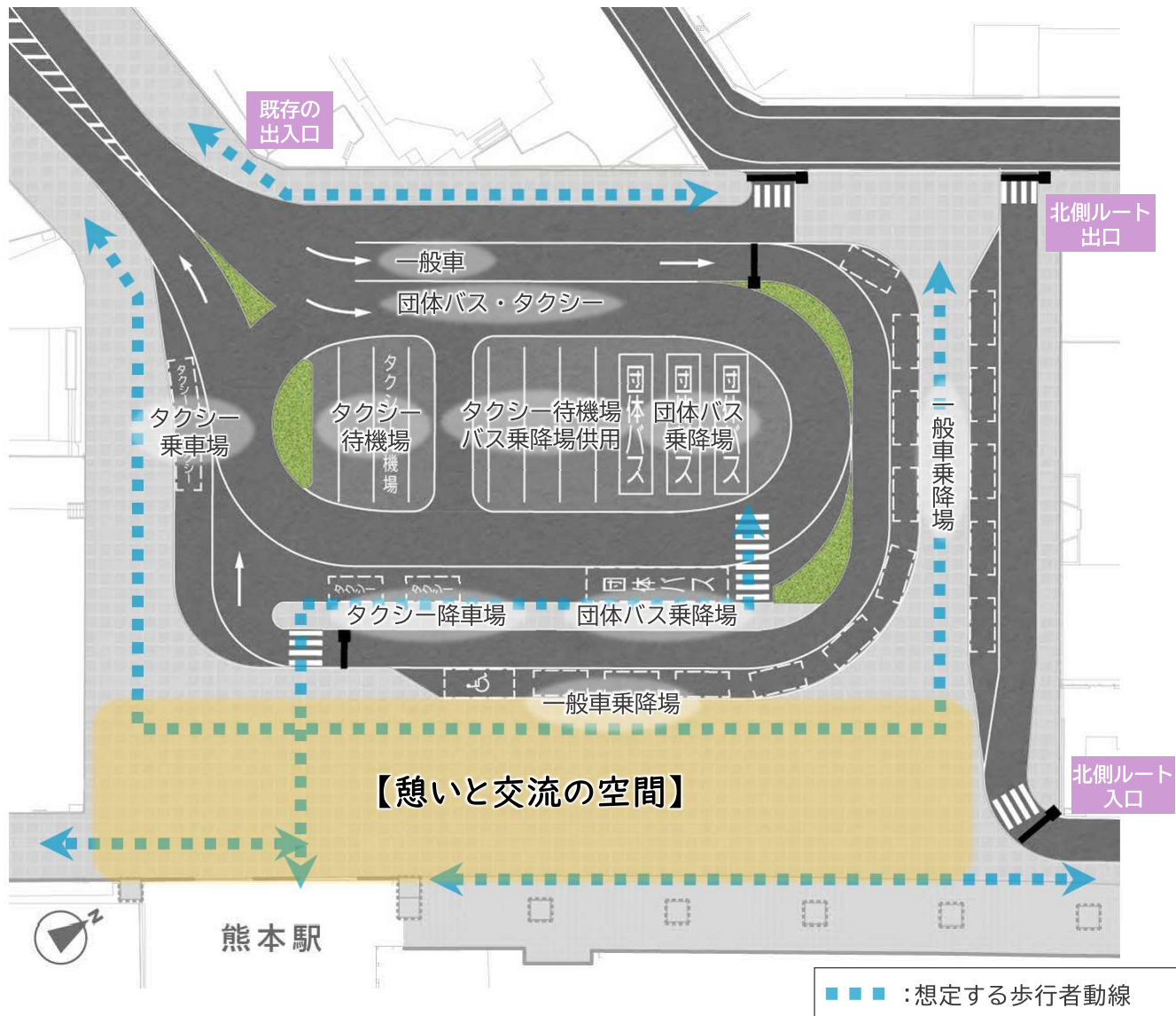
- ① 北側からのアクセスルートの新設による流入交通量の分散
- ② 需要に応じた送迎のための一般車乗降場の増設と、短時間利用促進のための一般車乗降場へのゲート方式の導入。
- ③ 渋滞発生の要因となる一般車整理場の廃止。
- ④ 一般車と団体バス・タクシーの動線分離。
- ⑤ タクシー待機場との共有も含めた団体バス乗降場の増設(周辺公共施設も活用)、バス乗降場をより駅舎近くへ配置することによる安全性、利便性の向上。

【対策後の駅前広場】



様々な交通問題に対応しつつ、現在の駅前広場の良さを引き続き継承する新たな駅前広場の再整備案は次のとおりです。

【再整備案】



駅前広場の良さを継承した空間形成として、【憩いと交流の空間】を中心に次のような施設や空間を新たに整備します。

情報発信機能	待合いのスポット	多様な使い方ができる空間	緑を感じられる空間	快適な移動空間
来訪者や地域住民へ向け様々な情報を発信。	熊本市民にとって愛着のあるおもやん像等を分かりやすい場所に配置。	固定のものを配置せず、待ち合う、安らぎ滞在する、イベントを開催する等多様な使い方ができる空間。	万日山や花岡山の緑が望める、緑を感じられる空間。	駅から乗降場までの歩行者動線には適宜屋根を設置。